

## 大阪校で研修施設見学会開く

ハウスリフォーマー育成学院大阪校

等を対象に注目されるリフォーム需要の取り込みに向け、4月に開校するハウスリフォーマー育成学院大阪校（大阪府高槻市、信本正

幸学長）は6、7の両日、研修施設見学会を開いた。同校は研修生を募集しており、今回は工務店関係等約50人

中小工務店

内容を説明する信本学長  
（右端）



が参加した。

同学院（長崎県西彼杵郡、中田竜学長）は2年前に九州で開校し、これまで約130

人が卒業している。大阪校は住宅資材販売の紅中（大阪市、中村晃輔社長）と同学院が提携し、紅中旧高槻支店を活用している。今後は住宅着工の減少が見込まれるため、リフォーム需要に対応する多能工職人の育成に力を入れる。

見学会で信本学長は「2030年に新設住宅着工戸数は60万戸に減少すると予想される。このため、リフォ

ームへの取り組みが重要視されるが、工務店にとってリフォームは手間が掛かり、儲からない。これを解消するため当学院がある。一つの職種や技術だけでなく複数の職種・技術を身につける多能工職人を育てなければならぬ」と話した。

同学院では水周りリフォームに特化して研修を行う。習得スキルは便器取り付け、洗面台取り付け、システム

キッチン組み立て、クロス張りの替え、タイルフロア施工、後付サッシ取り付け、パッキン・リペア補修、網戸張り替え。教材メーカーは水周りのLIXIL、パナソニック、OTTO。壁紙とフロアタイルはサンゲツ。実践で学べる育成プログラムは、専門講師により12日間合計80時間の集中学習になる。今後、同学院静岡校も開校を予定している。